



熊本県  
菊陽町  
議会  
だより

2018.11  
No. 97

# きくよう

題字：菊陽北小学校 6年 坂本 元気さん



菊陽町立武蔵ヶ丘第二保育園



菊陽町立保育所白菊園



菊陽町立武蔵ヶ丘第一保育園



菊陽町立保育所さくら園



菊陽町立保育所白鈴園



菊陽町議会

菊陽町議会フェイスブック  
左記のQRコードを読み取るとアクセスできます。



## 主な内容

議案と賛否	.....	P 2～3	マイタウン	.....	P 8
一般質問(4人)	.....	P 4～5	輝く若いちから	.....	P 9

# 校地拡張など、全議案を可決

## 9月定例会

平成30年第3回定例会が9月4日から同12日まで開かれた。通常は9月定例会で決算の審議がおこなわれるが、町長と町議会議員の補欠選挙が執行されたため、決算審議は12月議会でおこなわれる予定である。

### 専決処分の承認事件

承認第8号・承認第9号  
損害賠償の額の決定

#### 《内容》

道路管理瑕疵による破損事故の発生にともない、早急に損害賠償を決定し、相手方と示談を進めるため専決処分をおこなった。

#### 《質疑》

小林 久美子  
破損箇所は同じところだと思いが、1件目の事故後に注意喚起等はできなかったのか。

#### 《答弁》

事故発生から役場への通報までにかかりの日数があつたため。通報後は、直ちに現場へ行って復旧をおこなった。

### 全員賛成で承認

### 議案

議案第48号

平成29年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

#### 《内容》

収益的収入は13億6,489万5千円、収益的支出は13億1,987万1千円で収益的収支は4,502万4千円の黒字となっている。

審議は産業建設常任委員会に付託された。慎重に審議のうえ採決をおこなった結果、委員会で全員賛成により可決された。

### 全員賛成で可決

議案第49号

菊陽町子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 《内容》

4歳から15歳までの助成対象者の医療費の一部負担金に係る自己負担500円を廃止する。

### 全員賛成で可決

議案第50号

菊陽町立診療所の設置等に関する条例を廃止する条例の制定について

#### 《内容》

熊本県新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく菊池地域医療計画が開催され、県内感染期の医療体制について、外来診療をおこなう自治体立診療所を廃止し、原則全ての医療機関において新型インフルエンザ等の外来患者に対応すると改正されたことにもなう条例の改正。

### 全員賛成で可決

議案第51号

菊陽町総合交流ターミナル施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

#### 《内容》

菊陽町総合交流ターミナル施設の改修にあわせた

健康増進室、軽運動室の設置にともない、両施設の設置、営業時間及び使用料を定めるもの。

### 全員賛成で可決

議案第52号

平成30年度一般会計補正予算(第3号)について

歳入歳出予算の総額に6億7,415万2千円を追加し、歳入歳出予算総額を156億859万5千円と定めるもの。

#### 《質疑》

那須 真理子  
消防施設費、県の支出金が200万円計上されているが、災害によるものか。また、今後、他の地区に対して国・県からは出ないのか。

#### 《答弁》

地震による熊本県の復興基金である。これは地震の被害によつて対象となつており、それ以外の部分は対象にはならない。

### 全員賛成で可決

議案第53号

平成30年度菊陽町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

#### 《内容》

歳入歳出予算の総額に2億4,223万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を35億8,873万1千円と定めるもの。

### 全員賛成で可決

議案第54号

平成30年度菊陽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

#### 《内容》

歳入歳出予算の総額に2億8,123万1千円と定めるもの。

### 全員賛成で可決

議案第55号

平成30年度菊陽町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

#### 《内容》

歳入歳出予算の総額に1億4,328万9千円を追加し、歳入歳出予算の総額を24億5,695万5千円とするもの。

### 全員賛成で可決

議案第56号

町道路線の認定について

#### 《内容》

民間住宅開発で築造され、町に帰属された道路の町道認定。

#### 《反対討論》

北山 正樹  
行き止まりの道路は好ましくない。

### 賛成多数で可決

議案第57号

熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

#### 《内容》

熊本県後期高齢者医療広域連合の規約の一部変更するため。なお、本議案は、熊本県後期高齢者医療広域連合を構成する県内45市町村の同文議決を必要とする議案である。



**反対討論**

小林 久美子

構成市町の長または議会の議員により組織すること  
いうことだが、そもそも  
執行する長と議会の議員  
が一緒に同席してやると  
いうことがそぐわないと  
思う。

**賛成多数で可決**

**報告**

**報告第4号**

平成29年度決算に基づく  
菊陽町の健全化判断比率  
及び資金不足比率について

《内容》

実質赤字比率は、普通会計の実質収支について分析するが、決算では7億1,200万2千円の赤字であり、実質赤字比率を数値に表すことができない。連結赤字比率は、普通会計に特別会計を加えた実質収支額で、決算は12億6,047万2千円の赤字であり、赤字比率として数値に表すことができない。  
実質公債比率は、実質的な公債費に費やした一般財源の額の標準財政規模を基本とした額に占める比率で、早期健全化基準25%に対し8.4%。  
将来負担比率は、負債の標準財政規模を基本とし

た額に占める割合で、早期健全化基準350%に  
対し算入されないという  
結果になった。

**追加議案**

以上、全ての指標が早期健全化基準の範囲内である。

**議案第58号**

工事請負契約の締結について（武蔵ヶ丘中学校運動場拡張工事）

《内容》

武蔵ヶ丘中学校運動場拡張工事、契約金額2億1,114万円。契約の相手方は、太昭・北川・渡辺特定建設工事共同企業体代表者株式会社太昭工業代表取締役池内大介とする。

**諸般の報告**  
吉本孝寿議員の辞職にもない、次の配置を決定した。  
総務常任委員長 阪本 俊浩  
副委員長 大久保 輝

**報告第5号**

**有限会社さんふれあの経営状況について**

売上1億6,312万6,318円、売上総利益は1億3,728万2,680円。経常利益767万498円、当期利益60万5,698円。

**全員賛成で可決**

**議案第59号**

工事請負契約の締結について（武蔵ヶ丘中学校運動場ナイター照明設備他工事）

《内容》

武蔵ヶ丘中学校運動場ナイター照明設備ほか工事、契約金額6,652万8千円。契約の相手方は、不二電気工業株式会社代表取締役岩崎裕とする。

**全員賛成で可決**

**発議第3号**

**キャッシュレス社会実現を求める意見書（案）**

提案者 西本 友春

**全員賛成で可決**

**第1回臨時議会**

**大津菊陽水道企業団議会議員の選挙**

吉本孝寿議員の辞職にもない、上田茂政議員が後任に選任された。

**議案第46号**

平成30年度菊陽町一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算の総額に1,000万円を追加し総額を149億3,444万円とする。

**全員賛成で可決**

**議案第47号**

菊陽北小学校第2期大規模改造工事（建築）請負契約締結について

契約金額は1億6,632万円、契約の相手方は株式会社大昭工業代表取締役池内大介とする。

**全員賛成で可決**

**平成30年 第3回 菊陽町議会定例会**

付議事件

議案第56号	町道路線の認定について
議案第57号	熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

付議事件 ■賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本	西本	那須	佐々木	中岡	吉山	北山	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐	
		賛成	反対																
議案第56号	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	
議案第57号	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定 ※報告は採決がないため削除

※他の議案においては、全員賛成のため掲載していません。



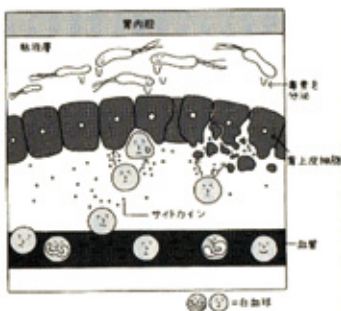
西本 友春 議員

## 菊池郡市の先頭を切って ピロリ菌検査助成の提案に 町はどう取り組んでいくのか

**答** ピロリ菌検査の助成を進めていきたい

**ピロリ菌検査**  
西本 ピロリ菌検査への助成を議題として提案をおこなった町としては、菊池郡市の先頭を切ってピロリ菌検査への助成を実施することを提案するが、町は今後どのように取り組んでいくのか。

**町長** 本町の場合はピロリ菌検査の助成を進めていきたいと考えている。また、事業を実施するに当たっては、すでに先行している県内の他の市町村の事例等を参考にしながら、本町に合った方法で具体的に進めていきたい。



**西本** 進めていくとの回答だが、どのような制度を考えているのか。

**健康・保険課長** 町民の方が町内の医療機関においてピロリ菌検査を受診された場合に助成する制度を考えている。

### きくよう健康倶楽部

**西本** 各センターで取り組んでいる町主催の講座も健康ポイントが付く制度を提案するが、町はどのように考えているのか。

**健康・保険課長** 各センターで取り組んでいる町主催の体操等の運動をおこなう講座もポイント対象の方向で検討する。

**西本** 現在、貯まったポイントには「さんふれあ」での買い物となつているが、ポイントのつく食料の協賛店でも利用が可能にできないのか。

**農政課長** 協賛店での利用は可能と考えており、課題解決に向けて検討をするとともに、協賛店から意

見をうかがいながら協議していきたいと考えている。

### 防災士

**西本** 防災士を増やすために、今年度で終了する防災養成講座の継続と補助が必要だと提案するが、町はどのように考えているのか。

**総務課長** 菊池市もまだまだ増やす計画なので、これまでのような合同開催の協議をしたいと思つている。また、補助については、これまでどおりの補助を継続していく。

### 結婚新生活支援事業

**西本** 内閣府が実施している地域少子化対策重点推進交付金（結婚新生活支援事業）に取り組むべきと提案するが、町はどのように考えているのか。

**子育て支援課長** 事業を実施している自治体の事業効果や周辺自治体の動向などを踏まえ、事業実施の判断をしていきたい。



小林 久美子 議員

## 危険ブロック塀の調査と その対応は

**答** 緊急点検をおこない、補助制度も検討している

**小林** 危険ブロック塀について、町の調査の状況とその後の対応はどうなっているか。

### 町施設8カ所を確認

**都市計画課長** 大阪北部地震を受け、緊急に調査点検を実施した。その結果、安全性に問題があり対策が必要と判断した町所有施設は、8施設である。また、道路沿線の民間ブロック塀については、192カ所の安全性が低いと確認した。

**小林** 国の交付金を使って、撤去だけでなく新設についても補助ができればいいか。

### 補助制度を検討中

**都市計画課長** 現在、民間のブロック塀の撤去を促進する補助金については、熊本県と協議中であ

るが、整いしだい町の交付要綱を策定し実施したい。

### 住宅・生活再建の見通しはどうか

**小林** 熊本地震災害復興支援については、仮設住宅、みなし仮設住宅からの再建のめどがたない人がいるのではないかと町として把握しているのか。また、その支援はどうしているのか。

### 住まい再建を支援

**福祉課長** 被災者の住まい再建の状況については、菊陽町地域支えあいセンターや関係機関と連携し、把握している。8月末現在で、光の森仮設団地は20世帯から5世帯に、みなし仮設は128世帯から45世帯になつている。そのうち再建の目的がたつていない6世帯の住

まい再建の実現に向けて支援をおこなっているところである。

### 12世帯が町営住宅入居

**土木部次長** 仮設住宅、みなし仮設住宅の再建困難者の町営住宅入居については、今年2月に調査を行い、町営住宅への入居者募集をおこなった。その結果12世帯が町営住宅に入居された。今後町としては、災害公営住宅は建設せず、町営住宅、県営住宅と連携して対応していきたい。





甲斐 榮治 議員

## 防災広場など重要事業の 情報早期開示を

**答** 適切な時期に確実な情報を示す

**防災広場、概算6億円**

**甲斐** 説明会で、事業費の概算についての町民の質問に答えなかったのは間違いである。あらためてきく。

**総務課長** 6億円程度を見込んでいます。

**町長** 事業費は流動的なので、慎重を期した。

**甲斐** 完成後の運営費はどう見積もっているか。

**総務課長** コストがかからないように検討中。

**甲斐** 防災広場関連の財源のうち5億8千万円の地方債（借金）については「交付税で措置される」という答弁だったがこれは毎年の元利償還金の8割が交付税額をきめる基準に参入されるだけである。8割の4億6千万円余が年次を追って全額還ってくるということはないと思うが、どうか。  
**総務課長** 還ってくる額は町の財政状況によって変わる。



(仮称) 光の森多目的広場

**町長** 税金が増えると交付税額は落ちる。  
**甲斐** 本町は交付税額が落ちつつある。こういった状況も判断材料として詳しく伝えるべきだ。

**防災機能は付加でよい**

**甲斐** この広場は一等地である。普段は多くの町民が誰でも使える施設（たとえば公園）にしそれに防災機能を付け加える、ということではよいのか。

**総務課長** 避難所は会議室、広場は地域のイベントに利用可能。遊具の要望についても検討している。光の森町民センターと一体的に活用して、防災機能を高めたい。

**甲斐** この広場に民間資本を活用した公共施設はできないのか。

**総務課長** 2haについてはすでに用途が決まっていますが、東側の1haについては可能性はないではない。

**甲斐** 地方自治体のおこなう事業は、基本的に住民の福祉をめざしており最後はともに祝うべきものがある。住民、議会、執行部が早い段階から情報を共有し協力し合うために、事業計画を示すべきだ。

**総務課長** 適切な時期に確実な情報を示してゆく所存である。



佐々木理美子 議員

## 熊本地震後 防災の見直し状況は

**答** 今年度は、地域防災計画の見直しをおこないさらなる防災体制の強化を図っていく

**熊本地震の教訓と防災体制は**

**佐々木** 菊陽町も熊本地震では、災害当事者となった。今後の防災体制の見直しの必要があると思うが、どうか。

**総務課長** 今年度は地域防災計画の大きな見直しをおこなった。職員の防災体制である災害対策本部の見直しもおこなった。

**佐々木** 職員の防災意識はどう変わったか。

**総務部長** 地震後の職員アンケートでは、

- ・地震を経験して日ごろの対応について学習していく
- ・日ごろから地域住民とのコミュニケーションを図る
- ・ボランティアを受け入れやすくする環境づくりが必要
- ・全職員が何の業務をおこなうか考えておく必要がある。

など改善策の提案があった。

た。職員の意識は高まった。

**児童生徒の登下校の安全安心は**

**佐々木** 学校施設の危険箇所状況はどうなっているのか。

**学務課長** 学校施設では菊陽南小と武蔵ヶ丘小の2カ所においてブロック塀に危険箇所を確認した。南小はすでに撤去が完了している。通学路の安全点検は、年度初めに、学校と保護者が通学路の安全点検をおこなった。

**佐々木** 地域と連携した活動の中に、菊陽西小の新入生の下校を見守る活動と南八久保地区の「防犯パトロール隊」がある。

菊陽西小の活動は、新入生の登下校の見守りを保護者、地域のボランティアで付き添い、見守る活動で、南八久保の防犯パトロール隊は、児童生徒の安全を守りながら、ひとり暮らしや空き家の状



集団登校のようす

**生涯学習課長** なにかの機会でも他の地域の方に紹介し、活動がひろがるよう働きかけていく。

その他の質問

- 人権問題であるLGBTの取組について
- 運転免許の自主返納者に町独自のサポートについて

# 文教厚生常任委員会

# 総務常任委員会

# 産業建設 常任委員会

## 町立保育所民営化に 関して

### 子育て支援課

5園の町立保育所の民営化の進捗について、その後の経過の説明と審議の内容を報告する。

**問** 三者協議会（引受法人、町、保護者）で構成。以後、保育園の運営について協議を重ねる）の実施予定は。

**答** 各々の保育園で選出した保護者代表を交え、第一回目の協議会を実施した。保護者の多くは町及び法人からの説明を聞いて、納得しおおむね良好に進んでいる。

**問** 合同保育（現行と法人を合わせた合同の保育態勢のこと）の予定は。

**答** 民営化した後でも子どもたちが安心できるようにするため。9～10月を目処におこなう。

**問** 移管時期はいつになるか。

**答** H31年4月からが有力である。建替える予定の武蔵ヶ丘第一保育園の園舎は、町が取り壊し、法人が新たに建てることになる。建築中の保育は武蔵ヶ丘第二保育園でおこなう。

**問** 保育士の確保と待機児童解消の取り組みは。

**答** 臨時職員に加え、引受法人からも職員が来ることから、現有数は確保できる見込み。

待機児童解消のため、法人には新規の職員の確保に努めるよう要望している。最終的には、応募してくる児童数との関係があるため、来年以降になる。また、移管時に保育士が不足する場合は、町職員を出向させることも検討している。

**問** H31年度の受け付け時期はいつからか。

**答** 第一次の募集は11月

中からになり、例年通りおこなう。

**問** 臨時職員の意向については。

**答** 町は各々の保育士の意向を聴取しており、それぞれの法人の方針と併せてフォローしていく。

**問** 議案提出時期はいつを予定しているか。

**答** 条例改正案は12月を目処に進めている。

**問** 子育て支援センター設置の予定は。

**答** 保育所運営検討委員会で、民営化と並行して進める。

**問** 民営化によって生じる財源は。

**答** 額については不確定な要素もあることから、おおよその額は示すことは可能である。

## 日時・場所

9月7日

菊池広域連合消防本部を委員4人で視察。

## 構成市町の概要

菊池広域連合は菊池市、合志市、大津町、菊陽町の4市町で構成されており、7万3939世帯、18万6517人の身体・生命、財産を守る防災組織等がある。

## 現況

冒頭、辻消防長より消防本部の歴史や現在の状況について説明があり、管内4つの消防署189人が昼夜を問わず緊急時に備え勤務している。

H29年の火災出動件数は57件。緊急出動件数は8092件、1日平均22回もあり職員数の不足も懸念される。

## 予算

消防費は、4市町で17億1,684万4千円。

その内、菊陽町が負担する額は、3億6,070万1千円。人口一人当たりの消防費は、8,726円となる。

## 組織

消防本部の組織は総務課、予防課、警防課、通信指令課の4つの課から形成。

その中でも、緊急時に最も重要な役割を担っている通信指令課に案内していただき事細かにシステムの説明を受ける。

## 感想

職員の皆さんの防災に対する熱い想いを肌で感じて帰ってきた。忙しいなか対応いただき感謝している。

## 議案第48号

平成29年度菊陽町下水道事業会計利益の処分及び決算の認定についてが付託された。

9月7日に土木部長、下水道課長等から詳細な説明をうけ慎重に審議をおこなった。

**問** 公共下水道事業で受益者負担金は1㎡あたりの340円であるが、金額の変化や徴収委託費について大津町も同様のものか。

**答** 変化はない。

**問** 農業集落排水事業で、H24年九州北部災害後に災害防止のために熊本県へ無償譲渡することになったのか。

**答** 流域治水対策事業が採決され災害防止を図る河川改修工事が実施されるため。

全員賛成により

可決及び認定





# 総務常任委員会研修報告

7月5日、山鹿市役所に出向き「空き家バンク制度」について研修をおこなった。

あらかじめ提出していた質問事項の回答を地域生活課よりいただいた。資料の1ページ目には、人口の推移について書いてあり、H17年の合併時が6万65人。現在では8千人近く減少し5万2,513人。

更に山鹿市長期人口ビジョンでは、H43年には3万8千人と予想されている。この万単位の人口減少を考慮した政策の一つだと思われる。

「空き家バンク制度」は、空き家所有者、空き家利用希望者双方がバンクに登録するシステムである。

空き家利用希望者は、自分の希望する物件があれば、バンクに交渉を申し込む。

バンクは、あらかじめ協定を結んでいる宅建業協会に連絡。双方と契約交渉をおこなう。そうい

う仕組みである。

H25〜30年度までにこの制度を利用し契約にこぎつけたのは、5年間で18件。

制度開始からの問題点と課題として、「物件未登記、相続手続きがなされていらない、などの理由で空き家登録件数がなかなか増えてこない」ということであった。

## 委員長所感

現在、山鹿市2万1788世帯の内1012軒約20軒に1軒が空き家であらうと推測されている。菊陽町にもいつかこのような時代がやってくるかもしれない。山鹿市などの例を教訓とし、総務常任委員会の委員一同『住みよい安心、安全なまちづくり』に貢献できればと考えている。



山鹿市役所での研修

# 空港周辺4カ町村議員研修報告

8月17日阿蘇くまもと空港周辺の自治体（益城町、大津町、菊陽町、西原村）の議員が集まり、菊陽町を会場として研修がおこなわれた。

講師に熊本県企画振興部交通政策・情報局長の藤井一恵氏が「インバウンドの動向と変わる熊本のゲートウェイ」という演目での話があった。その後、各町村の代表者による、空港周辺の将来像について自由に発表をおこなった。

## 菊陽町発表者

西本友春議員

本年2月に沖繩都市モノレール課で研修し、実際に「沖繩ゆいレール」に乗車した体験をもとに研修参加者の意見をふまえて結論部分だけを以下の通り発表をおこなった。新交通システム導入での検討すべき事項（想定される来客者）とは。

- 1、阿蘇くまもと空港利用者（国内外）
- 2、ビジネスで利用が見込めるお客様の想定（第一テクノ・第二テクノ・本田技研等）

3、買い物等で利用が見込めるお客様の想定（トライアル・光の森・合志市ショッピングモール・益城イオン）

4、通学で利用が見込めるお客様の想定（大津高校・翔陽高校）

5、人の集まる施設でのお客様の想定（運動公園・えがお健康スタジアム・誘致成功後の県営球場）

6、居住空間の大型開発が必要

7、直線的なルートでなく、ループ前提でのルートでの検討

8、鉄道では単線・複線及びJR連結の検討、モノレールでは全てが上空ではなく、地上と同じ高さの区間の検討も必要

各町村議会代表者が、自分たちのまちの特徴を活かし夢や希望を含め発表した。



# 菊陽町議会議員補欠選挙において布田悟氏、矢野厚子氏が当選されました。



矢野 厚子氏



布田 悟氏

布田悟氏は、総務常任委員会、矢野厚子氏は、産業建設常任委員会の委員に選任されました。皆さんどうぞよろしくをお願いします。

## 町民と議会の語る会

菊陽町議会では開かれた議会をめざして町民の皆様との意見交換をおこないます。皆様のご来場をお待ちしています。

### 第1回

- ◆日時 1月21日 月  
午後7時～9時
- ◆場所 中央公民館

### 第2回

- ◆日時 1月23日 火  
午後7時～9時
- ◆場所 光の森町民センター

- ◆内容 議会報告・意見交換・その他
- ◆対象者 菊陽町民
- ◆問い合わせ 議会事務局 ☎ (232) 4919



# 子どもたちを守りたい!

～地域で活動される皆さん～

私が変則交差点で通学路児童（菊陽西小）の安全見守り活動を始めて10年が経過しました。始めてすぐのころは、車も少なく、子どもたちと朝のあいさつを交わし、時にはタッチをして安全で楽しい一日が過ごせるように見送ったものでした。

現在、近隣の大型店舗・企業や人口の増加により午前7時～午前8時



菊陽西小学校校区  
沖野区  
林 利光さん

菊陽町には、子どもたちを巻き込んだ悲しい事故や事件を防ぐために一生懸命活動されている方々がいいます。そこでその方たちの地道な活動を紹介するため取材をしました。



変則交差点の現場

の間に数百台の車が狭い交差点を一時停止の標示を無視して、行き交うドライバーが大半に見られず。そのために子どもたちと楽しく会話をし、安全に過ごすこともできなくなってきました。

ひとつ残念なことに、この交差点の横断歩道前（滞留場）には地域のみステーションがあり、燃えるごみの日は、山のように積まれ、通学時、子どもたちは車道に、はみ出してしまい危険な状況で通学をせざるを得ません。

いつも子どもたちのために交差点に立って、子どもの表情の変化にも、いつもと違うと感じたらしく声をかけて下さいました。  
親子ともにいつも感謝しています。



親子の声

地域の皆さんは、この状況を考慮され、なにかと気を配っていただき、安全が確保でき、私も大変助かっているところです。

今後もこの交差点から子どもや通勤者の事故のないよう安全をしっかり守り続けたいと思っております。

## 平成30年度 全国地域安全運動実施

～地域のことは地域で守りましょう～



キャンペーンのようす

10月13日光の森駅とゆめタウン光の森で全国地域安全運動キャンペーンが実施されました。菊陽町の防犯や地域の安全対策に協力されている方々が参加して、啓発のチラシやグッズを配布しました。

熊本北合志警察署生活安全課、大津警察署生活安全課、光の森交番所長、防犯協会の皆さんと一緒に町の安全・安心のために多くの人に協力を呼びかけていました。また、熊本県警察キャラクター「ゆっぴー」も応援にかけつけました。

防サギ電話は、「Tel188」消費者ホットラインまたは#9110へ



# 輝く若いちから



菊陽町を支える若者たち



## 酪農

ご結婚  
おめでとう  
ございます!!



かざま けんた  
風間 健太さん  
ゆか  
由加さん (鉄砲小路)

- Q** この仕事を選ばれたのはどうしてですか。  
**A** 牛がとても好きで、自分らしくいられると思ったからです。
- Q** どのようなときに、自分の仕事に喜びを感じますか。  
**A** 自分の考えで、主体的に仕事に取り組めるところです。
- Q** 出身がそれぞれ違いますが、菊陽町のどんな所に魅力を感じますか。  
**A** 由加さん：静かで穏やかで、とても暮らしやすいです。車で少し走ると様々なお店がそろっているのも嬉しいです。  
 健太さん：近くに役場などがあり利便性が良い所です。



### 風間さんからのメッセージ

僕は長野県で、妻は長崎県出身です。新規就農でこの町で酪農をはじめました。まずは、なるべく早く借金を返すのが目標です。大規模をめざしている訳ではありません。身の丈に合った経営をしていきたいです。そしてゆくゆくは、私と同じように、新規就農をする人たちのお手伝いができればと思います。10月に結婚し、これから家族も増えると思いますので、この町にしっかりと根を下ろし新しい住居を建てて、楽しく酪農を続けていきたいと思っています。

## 左官

技能五輪  
全国大会3位!!



みやま けんいち  
深山 賢一さん  
(上津久礼)

- Q** この仕事を選ばれたのはどうしてですか。  
**A** 父が左官業をしていたのがきっかけです。
- Q** どのようなときに、自分の仕事に喜びを感じますか。  
**A** お客様に喜ばれたときや、感謝の言葉をいただいたときです。
- Q** 以前、左官の競技大会に於て表彰されたそうですが、それはどんな賞ですか。  
**A** 技能五輪全国大会という、23歳以下の青年技能者が技能レベルの日本一を決める競技大会です。結果は3位でした。



### 深山さんからのメッセージ

私は左官と言う仕事に就いて23年になりますが、まだまだ知らない事ややった事がない仕事沢山あります。技術的にも施工法や材料が次々と新しくなり、勉強するのが大変です。左官業は一人前になるのに5年~10年かかるといわれています。そのため若者がなかなか育たなく、職人の高齢化も進み、人材不足に陥っています。今後は左官の魅力をもっと多くの若者に伝えていくことによって、業界が発展すれば地域にも貢献できると考えます。

# ありがとうございました

## 災害時緊急対応をされた皆様 特集⑨

今回は、熊本地震後、被災された家族から預かった犬や迷子犬、猫の保護をされているドッグレスキュー熊本（原水）にうかがいました。



ドッグレスキュー熊本  
代表 生松 義浩さん

どんなきっかけでドッグレスキューをされているのですか。

8年前から譲渡会の場所として、協力していました。支援して保健所から犬の保護も継続しています。熊本地震ではたくさんの犬猫を預かりました。

たくさんの犬がいますが、譲渡は順調にすすんでいますか。

どうしても小さい犬から引き取りがあります。全ての子たちが暖かい家にもらわれていたら良いと思っています。

これからのことで、何かありますか。

地震から2年経った今でも、家の建て替えなどで犬を預かってほしいと問い合わせがあります。できるかぎり、復興の手助けをしてまいります。

今後もお寄付等のご支援・ご協力をお願いします。



12月議会の開会日は、12月4日(火)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局 096-232-4919 にお問い合わせ下さい。

この議会だよりは再生紙を使っています。

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
大久保 輝	阪本 俊浩	那須眞理子	佐々木理美子	中岡 敏博	甲斐 榮治	渡辺 裕之

議会だより取材のため、腕章を着用した議員が写真撮影に何うかがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。

### 議会からのお願い

### みんなの議会 傍聴は、お気軽に

しかし、原稿の読み合わせや取材では、神経を使い、配慮を忘れないよう慎重におこなっています。手に取って読んでみると様々なアイデアや工夫が見つかると思います。正確な情報を発信することはもちろんです。さらに身近な議会や広報誌になるよう、今後も努めてまいります。

# 傍聴者の声



平成30年 第3回定例会（9月）傍聴者のべ29人



答弁者の声が小さく、また真剣さを感じられない。町長の答弁を多くしてほしい。大きく自信を持って、明確な答弁を望む。



質問する議員が少ないなと思います。答弁する方は、質問に端的に答えてほしいです。



質問する議員が少ないのはなぜ。質問に対する答弁事項については、すぐやれることはすぐに施行してほしい。また改善すると答えた事に対しては、その場の答弁で終わらせないでほしい。改善に向けて努力を。



行政側の答弁が全部原稿を読み続けるだけだったので、本当の意味で町政をおこなうという気迫に欠けた気がした。

## 表紙の紹介



民営化が進められている5つの町立保育所の運動会のようす

## 編集後記

中岡 敏博

今回の議会だよりは、主に9月定例会の内容になります。菊陽町長選挙の影響もあり、いつものページ数より少なくなりました。しかし、研修で学んだことや各委員が出し合う意見を反映し協力し合うことで我々が目指す広報誌に近づいていると思います。

現在は、アナログからデジタルへと変化しており、編集作業も手書きから、ワープロへ、原稿の手渡しから、メールでの送信となり、写真やイラストの挿入も簡単にできるようになりました。